令和5年第1回中頓別町議会定例会会議録

○議事日程（第1号）

令和5年3月2日（木曜日） 午前10時00分開会

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 議会運営委員会報告
- 第 3 会期の決定
- 第 4 諸般の報告
- 第 5 行政報告
- 第 6 議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について
- 追加日程第 1 議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について
て
(いきいきふるさと常任委員会委員長報告)
- 第 7 議案第 3号 中頓別町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 8 議案第 4号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 9 議案第 5号 中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第10 議案第 6号 中頓別町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
- 第11 議案第 7号 中頓別町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
- 第12 議案第 8号 中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について
- 第13 議案第 9号 中頓別町いきいきふるさと推進条例の一部を改正する条例の制定について
- 第14 議案第11号 中頓別町不妊及び不育症治療費等助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第15 発委第 1号 中頓別町議会個人情報保護条例の制定について
- 第16 議案第12号 令和4年度中頓別町一般会計補正予算
- 第17 議案第13号 令和4年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算
- 第18 議案第14号 令和4年度中頓別町国民健康保険事業特別会計補正予算
- 第19 議案第15号 令和4年度中頓別町国民健康保険病院事業会計補正予算
- 第20 議案第16号 令和4年度中頓別町水道事業特別会計補正予算
- 第21 議案第17号 令和4年度中頓別町下水道事業特別会計補正予算
- 第22 議案第18号 令和4年度中頓別町介護保険事業特別会計補正予算
- 第23 議案第19号 令和4年度中頓別町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

○出席議員（8名）

1番	高橋 憲一 君	2番	長谷川 克弘 君
3番	西浦 岩雄 君	4番	宮崎 泰宗 君
5番	東海林 繁幸 君	6番	星川 三喜男 君
7番	細谷 久雄 君	8番	村山 義明 君

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	小林 生吉 君
副 町 長	遠藤 義一 君
教 育 長	相座 豊 君
総務課 参事	市本 功一 君
総務課 参事	笹原 等 君
総務課 参事	野田 繁実 君
総務課 参事	小林 嘉仁 君
総務課 参事	石川 章人 君
総務課 参事	矢部 智彦 君
産 業 課 長	平中 敏志 君
産 業 課 参事	永田 剛 君
産 業 課 参事	西川 明文 君
建設課 参事	長尾 享 君
保健福祉課長	相馬 正志 君
保健福祉課主幹	西巻 俊英 君
保健福祉課主幹	五十嵐 弘将 君
教 育 次 長	小林 美幸 君
教育委員会主幹	後藤 浩一 君
国保病院事務長	西村 智広 君
会 計 管 理 者	庵 日鶴 君
認定こども園園長	大島 朗 君
自動車学校長	山田 和志 君

○職務のため出席した事務局職員

議会事務局長	今野 真二 君
議会事務局書記	田辺 めぐみ 君

◎議長の挨拶

○議長（村山義明君） おはようございます。議員各位におかれましては、時節柄何かとご多用の折、令和5年第1回中頓別町議会定例会にご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染予防のためマスクの着用、手指の消毒などにご協力をよろしく申し上げます。

◎開会の宣告

○議長（村山義明君） ただいまから令和5年第1回中頓別町議会定例会を開会します。

（午前10時00分）

◎開議の宣告

○議長（村山義明君） 定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程については、お手元に配付した議事日程第1号のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（村山義明君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員につきましては、会議規則第125条の規定により、6番、星川さん、7番、細谷さんを指名します。

◎議会運営委員会報告

○議長（村山義明君） 日程第2、議会運営委員会報告を行います。

議会運営委員会委員長の報告を求めます。

長谷川さん。

○議会運営委員長（長谷川克弘君） おはようございます。よろしく申し上げます。それでは、議会運営委員会報告を行います。

令和5年第1回中頓別町議会定例会の運営に関し、2月16日、2月20日に議会運営委員会を開催したので、その内容を報告いたします。

1、会期について、本定例会の会期は本日3月2日から3月10日までの9日間とする。会議に付された事件が全て終了した場合は、会議規則第7条の規定により会期を残し、閉会する。

2、一般質問について、通告期限内に通告したのは5議員である。一部重複する可能性があるため、後から質問する議員は答弁の重複が生じないように注意願いたい。

3、提案された議案の取扱いについて、議案第10号はいきいきふるさと常任委員会に付託して審査する。議案第20号から第28号の令和5年度中頓別町各会計予算は、議長発議により全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査する。

4、個人情報保護法が改正され、町議会については独自に例規を整備する必要があるこ

とから、中頓別町議会個人情報保護条例の制定の件は議会運営委員長から発委を予定している。

5、閉会中の郵送陳情等の取扱いについて、全議員に写しを配付する措置を取り、議長預かりとした。

6、テレビ中継について、3月8日午前10時から一般質問終了及び予算審査特別委員会の開始から終了まで役場町民ホールと町民センターに設置されたテレビに議場から中継を行う。

以上で議会運営委員会委員長報告を終わります。

○議長（村山義明君） これにて議会運営委員会報告は終了しました。

◎会期の決定

○議長（村山義明君） 日程第3、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、議会運営委員会報告のとおり、本日3月2日から3月10日までの9日間としたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日3月2日から3月10日までの9日間とすることに決しました。

◎諸般の報告

○議長（村山義明君） 日程第4、諸般の報告を行います。

議長一般報告、監査委員の例月出納検査報告、町長からの第7期中頓別町総合計画後期実施計画状況報告及び第8期中頓別町総合計画前期実施計画の第3回変更につきましては、お手元に印刷配付のとおりですので、御覧の上、ご了承願います。

所管事務調査報告は、いきいきふるさと常任委員会委員長からいただきます。

宮崎さん。

○いきいきふるさと常任委員長（宮崎泰宗君） おはようございます。先日開催したいきいきふるさと常任委員会所管事務調査の報告をさせていただきます。お手元の所管事務調査報告書を御覧ください。

令和5年2月16日、中頓別町議会議長、村山義明様。

いきいきふるさと常任委員会委員長、宮崎泰宗。

所管事務調査報告書。

本委員会は、所管事務調査を実施したので、その結果を次のとおり報告します。

記、1、調査事項、1点目、中頓別学園整備事業について、2点目、中頓別町観光施設再整備基本計画について、3点目、地域医療提供体制について、4点目、町内工事視察、除雪センター、こども園サービスハウス、マイクロバス車庫、旧松田商店、介護医療院。

2、調査の方法、資料による説明聴取及び現地視察。

3、調査の期間、令和5年1月31日。

4、場所、議場、中頓別地区。

5、調査の結果、本委員会は、12月15日、令和4年第4回定例会で議決された継続調査として所管事務のうち緊急を要する事項の調査を行った結果、次のとおり意見の集約をみた。

6、調査意見、まず1点目の義務教育学校（中頓別学園）の建設事業については、今年5月に開校される総事業費約35億円の安平町立早来学園を直近の道内先進事例として視察なども行われており、本町でも予算規模としては同程度を想定しているとのことであるが、生徒数、人口規模、出生数（子どもの人数の将来予測）、早来学園は大規模な建築物の新築であり、中頓別学園の建設は基本的には改修であるなどの比較により総工費等で同程度になり得る根拠、人口減少が進み、子どもの人数の減少も続いている中、学校施設だけでそれだけの費用をかける必要性の説明においても十分とは言えない。今後の計画策定、設計、予算立て、執行の判断をする上においても多くの町民の理解が必要であると考え。

2点目、観光利用としては、コテージ、キャンプ場など道の駅側の施設では工夫や集客の改善が見られるが、特にピンネシリ温泉は手つかずの状況であり、食事の提供など、機能としては単に低下した状態とも言える。高額な予算を投じ作成した観光施設再整備基本計画など、これまでの調査等が無駄にならないよう方向性をより明確に提示していただきたい。

裏面を御覧ください。3点目、地域医療提供体制見直しの一環として開設された介護医療院の利用状況に加え、これまで長寿園（南宗谷福祉会）に委託してきたデイサービスと訪問介護の在宅サービス事業についても今年4月から運営を町へ移管し、町直営とすることが示されたが、新年度からの運営体制変更に対する情報提供の時期として時間的に不十分であり、法人にとっても有益な事業であれば運営を手放す必要もないわけであるから、移管せざるを得ない要因等について直営で事業を維持することによる町民負担の著しい増加とならぬよう今後の運営に活かされることを望む。

4点目、町内工事視察では、特に新設された除雪センターの構造について本委員会や今年度予算で示されていた内容と大きく異なっている点があり、仮眠できる休憩室部分など各部屋の用途も明確になっていない印象を受けた。建て替えの目的であった作業員の利便性や作業効率の向上に繋がる使い方ができているか見直す必要があると考え、その他未完成の施設や今後さらに改良等が加えられる部分については再度視察する機会を設けさせていただくが、大きな変更等が生じる場合の事前の説明や変更後の報告の在り方についても適切な対応を求める。

以上、報告とさせていただきます。

○議長（村山義明君） これにて諸般の報告は終了しました。

◎行政報告

○議長（村山義明君） 日程第5、行政報告を行います。

本件につきましては、町長から報告の申出がありますので、これを許します。

町長。

○町長（小林生吉君） おはようございます。令和5年第1回の定例会の招集に当たりまして、全議員のご出席を賜り、ご審議いただくことになりました。心から感謝を申し上げたいと思います。

私から行政報告を2点させていただきたいと思います。1点目は、中頓別町自治基本条例推進会議の開催報告についてであります。平成23年3月に制定されました中頓別町自治基本条例の見直しにつきまして、町議会からも3名の委員をご推薦頂き、各団体の代表者と合わせて総勢15名による委員の構成で自治基本条例推進会議を開催致しました。本推進会議の目的は、数年に一度自治基本条例本文を見直すとともに、町民、議会、行政の各役割やその推進状況を確認し、ご意見をいただくものです。推進会議の開催は、平成29年度に続き2回目の開催であり、1月24日と2月7日の2日間に渡り熱心なご審議を賜りました。結果として、条項・条文の改正につきましては「見直しなし」とのご判断をいただきましたが、様々なご意見をいただきましたので、今後その検討を行って参りたいというふうに考えております。

2点目は、「第2期中頓別町環境基本計画」の策定についてであります。平成23年に策定した中頓別町環境基本計画の次期計画について、令和4年7月に町環境審議会へ諮問し、同年11月に答申いただきました。その答申内容を踏まえ、令和5年2月21日付けにて「第2期中頓別町環境基本計画」を策定（別途報告済み）いたしました。本計画は、令和13年度までの10年間に豊かな環境の保全及び創造のために寄与する長期的な活動を網羅する計画であるとともに、必要に応じて個別計画を定めることも視野に、町民、事業者、町、旅行者が一体となって持続可能な地域づくりを目指して各種取組みを推進していくものであります。また、近年の異常気象発生の起因となっているとされる温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルを実現するため、太陽光や風力といった自然界に常に存在するエネルギーの活用と限りある石油などエネルギー資源の枯渇を防ぐ省エネルギーをこれまで以上に推進することを目的に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを、ゼロカーボンシティ宣言でありますけれども、明記をさせていただきました。「中頓別町ゼロカーボンシティ宣言」につきましては、別紙のとおりでありますので、ご参照いただければと思います。

以上です。

○議長（村山義明君） ただいまの行政報告について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認めます。

これにて行政報告は終了しました。

◎議案第10号

○議長（村山義明君） 日程第6、議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定の件を議題とします。

本件について簡略に提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定につきまして、相馬保健福祉課長から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 相馬保健福祉課長。

○保健福祉課長（相馬正志君） おはようございます。よろしくお願ひいたします。議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例についてご説明をいたします。

議案73ページをお開き願ひます。議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について。

中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

議案79ページをお開き願ひます。制定の要旨でございます。本町では、将来に向け地域医療提供体制を確保するとともに、町民が最後まで安心して暮らし続けることができるよう医療、介護、福祉、保健の各分野が一体となった地域包括ケアシステムを構築し、町民主体で豊かで全ての人に優しい地域共生社会の実現を目指しております。現在の本町では、在宅高齢者を支える仕組みが構築されていないため、高齢者が安心して自立した在宅生活を送れるように今後は小規模多機能型居宅介護事業所を開設していく予定ですが、2024年の介護保険法の改正で地域密着型通所介護と訪問介護の複合型サービスに変更になることを見据え、南宗谷福祉会で運営しているデイサービス事業所及び訪問介護事業所を町に移管し、在宅事業を展開していきながら事業内容の充実を図り、高齢者のニーズを的確に捉えたサービスを提供できる体制の構築に向けて進めていくため、この条例を制定するものであります。

以上、簡単ではありますが、説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほどお願ひいたします。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

お諮りします。ただいま議題となりました議案第10号は、議会運営委員会報告のとおり、いきいきふるさと常任委員会に付託して審査したいと思ひます。これにご異議ございませぬか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第10号はいきいきふるさと常任委員会に付託して審査することに決定しました。

常任委員会審査のため、ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前10時19分

再開 午前11時52分

○議長（村山義明君） 休憩前に戻り会議を開きます。

◎日程の追加

○議長（村山義明君） お諮りします。

ただいま議案第10号についていきいきふるさと常任委員会委員長報告が提出されました。

これを日程に追加し、追加日程第1として議題にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第10号のいきいきふるさと常任委員会委員長報告を日程に追加し、追加日程第1として議題とすることに決定しました。

◎議案第10号

○議長（村山義明君） 追加日程第1、議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について、いきいきふるさと常任委員会委員長報告を議題とします。

本件につきましていきいきふるさと常任委員会委員長の報告を求めます。

宮崎さん。

○いきいきふるさと常任委員長（宮崎泰宗君） それでは、先ほどの議案審査の報告をさせていただきます。お配りしたいいきいきふるさと常任委員会審査報告書を御覧ください。

令和5年3月2日、中頓別町議会議長、村山義明様。

いきいきふるさと常任委員会委員長、宮崎泰宗。

いきいきふるさと常任委員会審査報告書。

本委員会に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

議案第10号、中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について、原案可決。

審査意見、中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について。

在宅事業を町に移管することによって、どのように利用者の増加及び在宅サービスの充実に繋がるのかが明確になっていない印象を受ける。今後の運営に当たっては、利用時間

の延長、土曜日の営業など町に移管されることによるメリットを活かし、より充実した在宅サービスの提供を住民にお知らせするとともに、利用者の増加が図られることを望む。

以上、報告とさせていただきます。

○議長（村山義明君） 報告が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終了します。

これより議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定について討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第10号を採決します。

お諮りします。本件に対する委員長の報告は可決です。

議案第10号は委員長報告のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第10号 中頓別町在宅介護サービス事業所設置条例の制定の件は委員長報告のとおり可決されました。

ここで昼食のため議場の時計で1時まで休憩いたします。

休憩 午前11時58分

再開 午後 1時00分

○議長（村山義明君） 休憩前に戻り会議を開きます。

◎議案第3号

○議長（村山義明君） 日程第7、議案第3号 中頓別町職員定数条例の一部を改正する条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第3号 中頓別町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について、小林総務課参事から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 小林総務課参事。

○総務課参事（小林嘉仁君） それでは、よろしくお願いいたします。議案第3号 中頓別町職員定数条例の一部を改正する条例の制定についてをご説明申し上げます。

議案の1ページをお開き願います。議案第3号 中頓別町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について。

中頓別町職員定数条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

改正の要旨をご説明申し上げます。議案の4ページをお開き願います。まずは、町長部局の説明でございます。町長部局の定数につきましては、地域包括ケアの一環である小規模多機能型サービスの一部として南宗谷福祉会で運営されていたデイサービス、訪問介護も含みます、を令和5年4月から町の直営で実施することとしたため、これに必要な職員の配置について定数を定めるとともに、これに合わせて全体の定数を精査したことによる改正でございます。第1号の町長部局の定数は103名から100名にするものであり、その内訳としましては1、デイサービスに訪問介護を含む中で4増、2、定年延長、派遣の調整分として5減、3、介護医療院の介護福祉士として2減の合わせて計3減いたします。

次に、教育委員会部局の説明でございます。教育委員会部局の定数につきましては、新しい学校づくりに必要とされる専門職の配置及び専門職の採用調整に必要な定数を定めたことによる改正でございます。第3号の教育委員会部局の定数17から20名とするものであり、その内訳としましては新しい学校づくり関連としまして1、指導主事1増、2、図書館司書1増、3、保育士等採用調整としまして1増の計3増いたします。

本条例の一部改正に伴い、中頓別町第3次定員管理計画の改正を要するものであり、令和5年2月16日に令和4年度改正案を情報提供させていただいたところでございます。

続きまして、改正の内容を新旧対照表にてご説明申し上げます。議案の3ページをお開き願います。第2条第1項第1号、町長の事務部局の職員は103名から100名、第3号、教育委員会の所管に属する職員は17名から20名とするものです。

議案2ページを御覧ください。附則、この条例は、公布の日から施行する。

以上、簡単ではありますが、説明とさせていただきます。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第3号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第3号 中頓別町職員定数条例の一部を改正する条例は原案のとおり可決されました。

◎議案第4号

○議長（村山義明君） 日程第8、議案第4号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第4号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について、同じく総務課、小林参事から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 小林総務課参事。

○総務課参事（小林嘉仁君） 議案第4号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてをご説明申し上げます。

議案の5ページをお開き願います。議案第4号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

改正の要旨をご説明申し上げます。議案の10ページをお開き願います。職員の派遣等に伴う移転料につきましては、鉄道50キロメートル未満から1,000キロメートル以上の範囲内で6万9,000円から16万9,000円の範囲内で段階的に支出を行ってききましたが、現実の移転料との乖離が甚だしく、職員負担を伴うものになっていたことから、改正を行うものでございます。

改正に当たっては、現在北海道職員の派遣をいただいていることを踏まえてほかの北海道職員との間に差が生じないように配慮する必要があることと当町における移転料の実績が少ないことから、北海道職員等の旅費に関する条例に準じて規定を行うことといたしました。具体的には、移転料の上限額を設定し、その範囲内における実質額を支給するものであり、今後の北海道職員の派遣に支障を来さないものとしてございます。

続きまして、改正の内容を新旧対照表にてご説明申し上げます。議案の8ページをお開き願います。第23条の移転料は、ほぼ全文を改正とし、第1項では当該職員の扶養親族も含む移転料であり、第1号では別表2の第1号の上限額の範囲内で現に輸送業者に支払った額を支給するものです。また、第2号では、それ以外の場合であって別表2の第2号の上限額の範囲内で経費の申告があった額を支給するものでございます。

第2項第1号は、当該職員とは別に1年以内に扶養親族が移転する場合の移転料であり、当該職員と同様に現に輸送業者に支払った額を支給するものですが、当該職員の移転料と合算して別表2の第1号の上限額の範囲内で支給するものです。第2号では、それ以外の場合であって経費の申告のあった額を支給するものですが、これも同様、当該職員の移転料と合算して別表2の第1号の上限額の範囲内で支給するものです。

第3項では、やむを得ない事情がある場合は第2項の扶養親族の移転の期限である1年以内を延長することができる規定でございます。

第23条の3の扶養親族移転料は、移転先への扶養親族の旅費の支給を規定するものであり、第23条の改正に伴い第1項第2号で適用条文を改正するものでございます。

議案の6ページをお開き願います。下段の別表2をご説明申し上げます。別表2は、全部改正を行うものであり、令和5年2月16日に情報提供させていただきましたとおり、鉄道50キロ未満から1,000キロ以上の6区分に応じて6万9,000円から16万9,000円としていた額を第1号では旧在勤地及び新在勤地がいずれも北海道内である場合の上限額を37万4,000円、旧在勤地または新在勤地のいずれかが北海道外である場合の上限額を55万8,000円と規定、第2号では第1号以外の場合として上限額を5万円と規定したものでございます。

議案の7ページを御覧ください。附則、この条例は、公布の日から施行する。

以上、簡単ではありますが、説明とさせていただきます。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第4号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第4号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例は原案のとおり可決されました。

◎議案第5号

○議長（村山義明君） 日程第9、議案第5号 中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第5号 中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について、総務課、小林参事から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 小林総務課参事。

○総務課参事（小林嘉仁君） 議案第5号 中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定についてをご説明申し

上げます。

議案の11ページをお開き願います。議案第5号 中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

改正の要旨をご説明申し上げます。議案の16ページをお開き願います。改正の要旨、公職選挙法施行令及び公職選挙法施行規則の改正により、最近の物価の変動、上昇でございます、等に鑑みた衆議院議員選挙及び参議院議員選挙における選挙運動に関する選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用通常はがき等の作成の公営に関する経費に係る限度額が引き上げられました。これに準じて、中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正するものでございます。

改正の概要としましては、(1)としまして第4条の選挙運動用自動車の使用の公費負担額及び支払い手続の第1項第2号ア、一般運送契約以外の選挙運動用自動車の借入金額の限度額について、自動車借入れの単価限度額は1万5,800円から1万6,100円に、燃料費の単価限度額は7,560円から7,700円に改正。

(2)、第8条の選挙運動用ビラの作成の公費負担額及び支払い手続では、第1項のビラの作成を印刷業者等に委託する場合の作成金額の限度額で選挙運動用ビラ1枚当たり7円51銭から7円73銭に改正。

(3)、第11条の選挙運動用ポスターの作成の公費負担額及び支払い手続で印刷業者等に委託する場合、選挙運動用ポスター1枚当たり525円6銭から541円31銭に改正を行うものでございます。

また、改正概要で、大変申し訳ございませんが、漏れておりました。正誤表を提出させていただきましたが、ポスター作成基準金額も31万500円から31万6,250円に改正を行うものでございます。

続きまして、改正の内容を新旧対照表にてご説明申し上げます。議案の13ページをお開き願います。第4条第1項第2号アでは、一般運送契約以外の選挙運動用自動車の借入金額及びイでは燃料費のそれぞれの限度額の改正を規定。

議案の14ページをお開き願います。第8条第1項では、選挙運動用ビラの1枚当たりの作成単価の限度額の改正を規定。

第11条第1項では、選挙運動用ポスター1枚当たりの作成単価及び基準金額の限度額の改正を規定するものでございます。

議案の12ページをお開き願います。附則、この条例は、公布の日から施行する。

以上、簡単ではありますが、説明とさせていただきます。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村山義明君) 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村山義明君) 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第5号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村山義明君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第5号 中頓別町議会議員及び中頓別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例は原案のとおり可決されました。

◎議案第6号

○議長(村山義明君) 日程第10、議案第6号 中頓別町情報公開条例の一部を改正する条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長(小林生吉君) 議案第6号 中頓別町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について、市本総務課参事から説明をさせていただきます。

○議長(村山義明君) 市本総務課参事。

○総務課参事(市本功一君) 議案第6号 中頓別町情報公開条例の一部を改正する条例の制定についてをご説明申し上げます。

議案17ページをお開き願います。議案第6号 中頓別町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について。

中頓別町情報公開条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

改正の要旨をご説明申し上げます。議案29ページをお開き願います。改正の要旨、社会のデジタル化への対応や個人情報の保護とデータ流通の両立、強化及び個人情報保護制度の国際的な調和を図るため個人情報保護法が改正され、個人情報保護法、行政機関個人情報保護法、独立行政法人等個人情報保護法の3つの法律が統合され、令和5年4月から個人情報保護法が地方公共団体に適用されることに伴い、行政文書の定義について個人情報保護法と同等の規定となるよう改正を行うものです。また、本条例内で定める情報公開審査会について個人情報保護法との整合性を図るため、個人情報保護審査会と統合させた中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例として新たに条例を策定することから削除するものです。

次に、新旧対照表に基づき改正の内容をご説明申し上げます。議案21ページをお開き願います。目次中、第4章、中頓別町情報公開審査会(第22条―第28条)を削除いた

します。

第2条第2項中の電子計算機、磁気ディスクを電磁的記録へ変更いたします。

第9条では、公開義務のある公文書について除外されるものを非公開情報とし、第1号から第6号により規定をしております。第1号では、法令等により公にすることのできないと認められる情報、第2号では個人に関する情報であって公にすることにより権利利益を害するおそれがあるものとしたしまして、慣行として公にされたものもしくはその予定があるもの、生命、財産等を守るために必要な場合、公務員等である場合において職務の遂行に係る情報を除くものとしております。第3号では、行政機関等匿名加工情報または行政機関等匿名加工情報の作成に用いた保有個人情報から削除した記述等もしくは個人識別符号、第4号では法人等または事業を営む個人の事業に関する情報であって競争上の地位、利益を害するおそれのあるもの、公にしないと任意に提供されたものとし、ただし生命、財産の保護のために必要な場合を除くとしております。第5号では、各機関の内部または相互間において検討または協議に関する情報であって率直な意見の交換もしくは不利益を及ぼすおそれのあるもの、第6号では各機関が行う事務または事業に関する情報で公にすることにより次に掲げるおそれのほか、その事業の遂行に支障を及ぼすおそれのあるものとし、国の安全、国際機関との信用が損なわれ、交渉上不利益をかぶるおそれ、犯罪の予防、鎮圧または捜査など公共の安全と秩序に支障を及ぼすおそれ、監査、検査、取締り、試験または租税の賦課、徴収に関して正確な事実の把握を困難にするおそれ、契約、交渉、争訟に財産上の利益または地位を不当に害するもの、調査研究の公正かつ能率的な遂行を阻害するもの、人事管理に関して公正かつ確保に支障を及ぼすもの、企業経営上正当な利益を害する場合を規定しております。

第10条は、見出しを公益上の理由による裁量的開示に改め、非公開情報の中で前条第3号、匿名加工情報等を除くとし、公益上特に必要がある場合は公開ができると規定いたしました。

第11条は文言の修正、第12条の公開してはならない公文書は全文削除をし、削除と規定。

第13条では、各号を削除し、非公開情報に統一。

第15条第1項第3号では、第10条の規定の改正により適用条文を変更し、非公開情報のうち人の生命、健康、生活または財産を保護する場合、それに該当する旨とその理由を記載する旨を規定。

第21条では、見出しを削り、同条第2項中の審査会を中頓別町情報公開・個人情報保護審査会へ変更し、第4章、中頓別町情報公開審査会に関する第22条から第28条までを削除するものです。

議案20ページをお開き願います。附則第1項、この条例は、令和5年4月1日から施行する。

第2項、この条例による改正後の中頓別町情報公開条例第9条の規定は、この条例の施

行の日以後に行われる新情報公開条例第16条第1項の規定による決定について適用とする。

以上、簡単ではございますが、説明といたします。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第6号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第6号 中頓別町情報公開条例の一部を改正する条例は原案のとおり可決されました。

◎議案第7号

○議長（村山義明君） 日程第11、議案第7号 中頓別町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第7号 中頓別町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について、同じく総務課、市本参事から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 市本総務課参事。

○総務課参事（市本功一君） 議案第7号 中頓別町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定についてをご説明申し上げます。

議案30ページをお開き願います。議案第7号 中頓別町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について。

中頓別町個人情報の保護に関する法律施行条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

制定の要旨をご説明申し上げます。議案35ページをお開き願います。制定の要旨、個人情報保護法が改正され、令和5年4月からは本町にも個人情報保護法が直接適用されます。個人情報保護制度の所管は、国の個人情報保護委員会となり、これまで個人情報保護条例で定めていた事項の多くは新法で規律されることから、現在の個人情報保護条例を廃止し、規定を整理の上、新法による適切な運用のため新たに個人情報の保護に関する法律施行条例を制定し、条例に委任された事項等を定め、制定するものであります。

なお、2月16日開催の情報提供により詳細情報はお伝えしておりますので、一部簡略をし、説明させていただきます。

それでは、条例の内容をご説明申し上げます。議案31ページをお開き願います。第1条、趣旨では、個人情報の保護に関する法律の施行に関して必要な事項を定めるものとしています。

第2条、定義では、第1項で町の機関の定義を、また第2項では条例で使用する用語を個人情報の保護に関する法律及び施行令で使用する用語の例によるものとしております。

第3条、開示請求の手続では、法に掲げる記載事項のほか、規則で定める事項を記載することを規定。

第4条、開示請求に係る手数料等では、個人情報の開示について写しの作成及び送付の費用について中頓別町情報公開条例の規定の例によることを規定。

第5条、訂正請求の手続及び第6条の利用停止請求の手続では、法に掲げる事項のほか、規則で定める事項を記載することを規定しております。

第7条、中頓別町情報公開・個人情報保護審査会への諮問では、第1号から第4号に該当する場合、審査会に諮問できることを規定。

附則第1条、この条例は、令和5年4月1日より施行する。

第2条、中頓別町個人情報保護条例を廃止する。

第3条、旧条例を廃止することに伴う経過措置として、職員、委託業者の守秘義務、旧条例による是正の申入れなどについて、なお前のおりとされ、この条例の施行前に実施機関が保有していた秘密に属する文書及び旧個人情報をこの条例施行後に提供した場合、旧条例による違反についても罰則が適用される。

議案33ページを御覧願います。第4条、中頓別町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部の改正を新旧対照表にてご説明申し上げます。

議案34ページをお開き願います。第7条第2項第7号、第11条ともに法律が適用されることを追加し、より安全管理及び適切な管理をすることとして規定しています。各条文の内容につきましては、第7条第2項第7号の個人情報が法に規定されている個人情報である旨を規定、第11条では指定管理者が講ずる安全管理措置を確実に実施することを追加し、規定しています。

議案33ページにお戻り願います。第5条、中頓別町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正に伴う経過措置では、指定管理者における個人情報の取扱い、安全管理措置に係る義務は改正前の条例の例により継続する旨を規定しております。

以上、簡単ではございますが、説明といたします。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村山義明君) 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第7号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村山義明君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第7号 中頓別町個人情報の保護に関する法律施行条例は原案のとおり可決されました。

◎議案第8号

○議長(村山義明君) 日程第12、議案第8号 中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長(小林生吉君) 議案第8号 中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について、同じく総務課、市本参事から説明をさせていただきます。

○議長(村山義明君) 市本総務課参事。

○総務課参事(市本功一君) 議案第8号 中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定についてをご説明申し上げます。

議案36ページをお開き願います。議案第8号 中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について。

中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

制定の要旨をご説明申し上げます。議案42ページをお開き願います。制定の要旨、国では情報公開審査会が個人情報に係る審査請求についても調査審議を行うこととする情報公開・個人情報保護審査会設置法が制定され、情報公開・個人情報保護審査会として統合された審査会が設置、運営されております。現行の中頓別町情報公開審査会は、主に中頓別町情報公開条例に基づく公文書の開示等に対する審査請求について実施機関からの諮問に応じて審査審議するものとされております。一方、中頓別町個人情報保護審査会は、主に中頓別町個人情報保護条例に基づく保有個人情報の開示決定等に対する審査請求について実施機関からの諮問に応じて審査審議するものとされております。個人情報の保護に関する法律が改正され、現行の個人情報保護審査会などについて見直すこととなることに伴い、中頓別町情報公開審査会及び個人情報保護審査会を統合し、中頓別町情報公開・個人情報保護審査会として設置するため、条例を制定するものです。

なお、2月16日に開催いたしました情報提供により1度ご説明を申し上げますので、一部簡略してご説明申し上げます。

それでは、条例の内容をご説明申し上げます。議案 37 ページをお開き願います。第 1 条、趣旨では、本条例による審査会の設置及び組織並びに調査審議の手續について定めるものとしております。

第 2 条、設置では、情報公開制度における不服申立て及び適正かつ円滑な運用並びに個人情報保護制度における審査請求などを調査審議するため審査会を設置することを規定。

第 3 条、定義では、この条例において諮問庁、公文書、保有個人情報についての用語の意義を定めております。

第 4 条、所掌事項では、審査会の調査審議する事項を第 1 号から第 4 号により規定しております。

第 5 条、組織では、委員 3 名をもって組織することを規定。

第 6 条、委員では、町長によって委嘱され、委員の任期が 4 年であること、委員が欠けた場合は前任者の在任期間であること、職務上知り得た秘密をその職を退いた後でも漏らしてはならないことを規定しております。

第 7 条、会長及び副会長では、会長、副会長を置くこととし、委員の互選により選任することを規定。

第 8 条、審査会の調査審議では、この条例の定めるところにより実施する旨を規定。

第 9 条、審査会の調査権限について、第 4 項にわたり規定をしております。

第 10 条、意見の陳述では、審査請求人等に口頭で意見を述べる機会を与えなくてはならないが、審査会が必要でないとする場合においてはこの限りでないことを規定、第 2 項では審査会が認める場合において補佐人と共に出頭できる旨を規定しております。

第 11 条、意見書等の提出では、審査請求人等は審査会に対し意見書または資料を提出することができる旨を規定。

第 12 条、提出資料の写しの送付等では、審査会は意見書または資料の提出があったときは当該意見書または資料を提出した審査請求人等以外の審査請求人等に写しを送付するものとします。ただし、第三者の利益を害するおそれ、また正当な理由がある場合はこの限りでないこととし、第 2 項では請求人の閲覧ができること、第 3 項では送付または閲覧には審査請求人の意見を聴くこととし、第 4 項では審査会はこれらの日時の指定ができることを規定しております。

第 13 条、審査請求等に係る調査審議手續の非公開では、審査会の行う審査請求等に係る調査審議手續は公開しないことを規定。

第 14 条、答申書の送付等では、審査請求等に係る諮問に対する答申をしたときは答申書の写しを審査請求人及び参加人に送付し、答申の内容を公表することを規定。

第 15 条、審査請求等に係る調査審議以外の調査審議では、必要があると認めたときは町の機関に対して資料の提出、意見の開陳、説明、その他必要な協力を求められることを規定、第 2 項では実施機関以外の者に対しても協力を依頼することができることを規定。

第 16 条、委任では、この条例に定めるもののほか、審査会に関し必要な事項は規則で

定めることを規定。

第17条、罰則では、第6条第4項の規定に違反して秘密を漏らした者を1年以下の懲役または50万円以下の罰金に処することとし、第2項において町の区域以外においても適用することを規定しております。

議案40ページをお開きください。附則第1条、この条例は、令和5年4月1日から施行する。

第2条、委員の委嘱に関する準備行為では、審査会の委員の委嘱について施行日の前においても委嘱することができることとし、施行日において委嘱されたものとみなします。

第3条、旧情報公開審査会の廃止に伴う経過措置では、改正前の情報公開審査会に付された案件は本条例における審査会に付されたものとみなし、第2項では旧情報公開条例の規定による守秘義務については施行日以降もなお従前の例によることを規定。

第4条、旧個人情報保護審査会の廃止に伴う経過措置では、廃止前の個人情報保護審査会に付された案件は本条例における審査会に付されたものとみなし、第2項では継続されている事案は本審査会が引き継ぐことを規定、第3項により旧個人情報保護条例の守秘義務については施行日以降も従前の例とし、第4項について罰則についても従前のとおりとしています。

以上、簡単ですが、説明といたします。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

東海林さん。

○5番（東海林繁幸君） 第17条の罰則規定がありますが、懲役または50万円以下の罰金に処する、これ執行者は誰になるのですか。

○議長（村山義明君） 市本総務課参事。

○総務課参事（市本功一君） 条例なので、基本的には町長かと思います。

（何事か呼ぶ者あり）

○総務課参事（市本功一君） 一度確認して再度回答でもよろしいでしょうか。

（「いいですよ」と呼ぶ者あり）

○総務課参事（市本功一君） すみません。

○議長（村山義明君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑がないようですので、質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第8号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(村山義明君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第8号 中頓別町情報公開・個人情報保護審査会条例は原案のとおり可決されました。

◎議案第9号

○議長(村山義明君) 日程第13、議案第9号 中頓別町いきいきふるさと推進条例の一部を改正する条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長(小林生吉君) 議案第9号 中頓別町いきいきふるさと推進条例の一部を改正する条例の制定について、笹原総務課参事から説明をさせていただきます。

○議長(村山義明君) 笹原総務課参事。

○総務課参事(笹原 等君) 議案第9号 中頓別町いきいきふるさと推進条例の一部を改正する条例の制定について。

議案62ページをお開き願います。議案第9号 中頓別町いきいきふるさと推進条例の一部を改正する条例の制定について。

中頓別町いきいきふるさと推進条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

議案の71ページをお開き願います。改正の要旨でございますが、本条例は令和5年3月31日までの時限立法となっておりますが、引き続き本条例の目的である住民の定住化と本当の豊かさを分かち合う温かいまちづくりを推進していくため令和10年3月31日まで期限を延長するとともに、併せまして移住定住促進事業、就学支援事業、子育て支援事業、それぞれの内容の充実を図り、支援するものでございます。

具体的には、改正の概要として表で整理しておりますが、施行期日は令和10年3月31日まで延長すること。

移住定住促進事業につきましては、就職祝金の交付要件といたしまして現在は転入後に町内事業所に就職した場合を想定しておりますけれども、住宅の空き状況など様々な事情から就職後に転入されるケースもありますことから、就職後でも一定の期間を設けて転入された方についても対象とすること、また国や北海道など類似の補助金受給と重複しないことを要件に追加しました。

また、就学支援事業につきましては、通学用バス定期運賃補助事業で令和5年10月以降町が運行するスクールバスでの通学となるため、9月までの間は従前の例によることとし、当該項目を削るもの、高等学校等通学家庭補助事業では通学用バス定期運賃補助を受けない生徒の保護者に対する支援となりますが、浜頓別高校への通学生の保護者に対しては10月以降スクールバスでの通学が始まることでこれまで負担しておりました定期運賃

の自己負担分が軽減されることとなりますことから、浜頓別高校以外へ通学する生徒の保護者に対する支援と限定を持たせること。

72ページでございますが、子育て支援事業につきましては、紙おむつプレゼントで実施しております紙おむつ、紙おむつ用のごみ袋の交付につきまして紙おむつ1,000枚とごみ袋10袋に拡充し、出生されてから転入した子供に対しましても1歳に達するまでの間は交付対象とすることができる内容で改正するものでございます。

67ページにお戻りいただきたいと思っております。新旧対照表でご説明をいたします。附則第1項中、平成35年3月31日を令和10年3月31日に改めまして、別表中、移住定住促進事業に係る表をイ、就職祝金の欄で68ページのところになりますが、町内事業所に就職した者で就職してから5か月以内に転入の届出をしたもの、転入の届出をして町内の事業所に就職した者が就職したことに対する国や道の補助金等の交付対象者ではないことを加えた表に改め、就学支援事業のア、通学用バス定期運賃補助事業を削り、イ、高等学校等通学家庭補助事業を高等学校等通学家庭補助事業に、欄中、高等学校等へ進学する前項の通学用バス定期運賃補助事業により補助を受けていないを北海道浜頓別高等学校以外へ通学するに改め、子育て支援事業に係る表をア、出生祝い、イ、紙おむつプレゼント、ウ、絵本プレゼントの項に区分し、イ、紙おむつプレゼントの項で子供用紙おむつ、これまで360枚交付していたものを1,000枚に、紙おむつ用ごみ袋、これまで6袋交付していたものを10袋に、また住民基本台帳法第22条の規定による転入の届出をした者で年齢が1歳に達するまでのものを加えた表に改めるものでございます。

議案66ページにお戻りいただきまして、改め文の中段でございます。附則第1条、施行期日、この条例は、公布の日から施行する。

第2条、経過措置、この条例による改正前の中頓別町いきいきふるさと推進条例別表就学支援事業の部中の通学用バス定期運賃補助事業は、令和5年9月30日までの間は、この条例による改正後の中頓別町いきいきふるさと推進条例別表就学支援事業の部中の規定にかかわらず、なお従前の例による。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

東海林さん。

○5番（東海林繁幸君） 内容的にはいいと思うのですが、これ以前からなのですが、商品券とあるのです。どこの商品券なのか、商品券でなければいけないのか、商品券にする理由が何なのか、現金でもいいのでないかと逆に思うのですけれども、それはどういうことですか。

○議長（村山義明君） 笹原総務課参事。

○総務課参事（笹原 等君） 商品券としておりますものは、町の商工会のほうで発行されている商品券でございます。商品券でなければいけないのかというところでございますが、現金でお配りするとどうしても町外での消費のほうに流出してしまう可能性もありま

すことから、お祝金の中の一定程度は商品券でお配りをさせていただいているという趣旨でこれまで進めてきております。

○議長（村山義明君） 東海林さん。

○5番（東海林繁幸君） 商品券は、町内の全商店が使えるのですか。

○議長（村山義明君） 笹原総務課参事。

○総務課参事（笹原 等君） 一部商店では、取扱いしていないところもあると認識しています。

○議長（村山義明君） 東海林さん。

○5番（東海林繁幸君） それは、不公平と言われるのではないか、公の事業として。不公平感はないですか。

○議長（村山義明君） 笹原総務課参事。

○総務課参事（笹原 等君） そういったお店でも買物できるように、商品券と現金と両方を1つのお祝いの中で2種類用意して交付させていただいているということでございます。

○議長（村山義明君） もう一回許します。東海林さん。

○5番（東海林繁幸君） 町長に聞きます。買えない店のある商品券を町が出しているのですか。

○議長（村山義明君） 小林町長。

○町長（小林生吉君） 商品券を祝金の中に加えた趣旨は、先ほど笹原参事のほうからご説明を申し上げたとおりであります。基本的には、交付を受ける方について一定の金額がお祝金として渡されて、その方が自由に使っていただけるということが望ましいことではありますけれども、もう一つ、できるだけ地元の消費を喚起するという趣旨から商品券というのを導入しているところであります。確におっしゃるとおり、使えない商店も実際にはありますけれども、そもそもこれはお祝金ということですので、それを地元消費拡大ということに有効に活用するという趣旨でご理解を賜ればというふうに思います。

○議長（村山義明君） ほかに質問ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第9号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第9号 中頓別町いきいきふるさと推進条例の一部を改正する条例は原案のとおり可決されました。

ここで議場の時計で2時10分まで暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時56分

再開 午後 2時10分

○議長（村山義明君） 休憩前に戻り会議を開きます。

◎議案第11号

○議長（村山義明君） 日程第14、議案第11号 中頓別町不妊及び不育症治療費等助成に関する条例の一部を改正する条例の制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第11号 中頓別町不妊及び不育症治療費等助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、相馬保健福祉課長から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 相馬保健福祉課長。

○保健福祉課長（相馬正志君） それでは、説明をさせていただきます。

議案80ページをお開き願います。議案第11号 中頓別町不妊及び不育症治療費等助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

中頓別町不妊及び不育症治療費等助成に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定する。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

議案88ページをお開き願います。改正の要旨でございます。不妊及び不育症を懸念しつつも健全な子供の誕生を希望する町民に対し、治療のために遠方の医療機関へ通院する際の身体的、精神的、経済的負担を軽減し、安心して子供を産み育むことができるよう支援を拡充するために改正するものであります。

それでは、84ページをお開き願います。新旧対照表にてご説明をいたします。第4条、助成の額、第1項では改正前の不妊治療等及び交通費に改正後宿泊費の助成を加え、同条第1号では特定不妊治療に係る助成額を別表第1に整理をし、第2号では一般不妊治療における上限額を10万円と改め、第4号では宿泊費の助成を加え、別表第2を改めております。

別表第1では、治療を開始する女性の年齢により生殖補助医療では保険適用回数が40歳未満は最大6回、40歳以上から43歳未満では最大3回と定められておりますが、40歳から43歳未満であっても保険適用の生殖補助医療を40歳から43歳未満の間に1回以上受けている場合に限り40歳未満と同様の最大6回まで個人負担なく治療を受けることができます。これは、対象者の意思だけで治療するものではなく、医師とのカウンセ

リングを受けて体の状況など総合的に判断をし、治療計画を立て、その治療方法に同意した上で治療が始まります。外見や健康状態など個人差があり、よい状態であると医師が判断した場合に対し、対象者の後押しができるよう助成するものであります。助成額は、保険適用後の自己負担額、高額療養費適用後の自己負担額に対し1年度当たりの限度額を増額、先進医療においては現在保険の適用はなく、生殖補助医療を受けている場合に限定し、1年度当たり15万円を限度として助成、43歳以上に治療を開始する場合は一般不妊治療のみ自己負担分に対し1年度10万円を助成するものであります。

別表第2において、交通費助成に関してはこれまでは母子保健衛生費補助金と同額で助成をしておりましたが、表のとおり限度額を含め増額としております。医療機関までの距離は、実走行距離ではなく、所在地までとしております。宿泊費は、治療に際し夫婦での移動を想定し、助成対象者と介助者1名の計2名に限り1名1泊当たりの上限を設定しております。

83ページをお開き願います。附則、この条例は、公布の日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

本条例と関連する施行規則においても改正を行うよう進めております。

事業の適用に際しては、治療を検討している方が医療機関へ行く前に相談できる体制を再確認し、町民への周知を図り、事業を進めてまいります。

以上、簡単ではありますが、説明とさせていただきます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第11号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第11号 中頓別町不妊及び不育症治療費等助成に関する条例の一部を改正する条例は原案のとおり可決されました。

◎発委第1号

○議長（村山義明君） 日程第15、発委第1号 中頓別町議会個人情報保護条例の制定の件を議題とします。

本件について発委者より提案理由の説明を求めます。

長谷川さん。

○2番（長谷川克弘君） 発委第1号。

令和5年3月2日、中頓別町議会議長、村山義明様。

提出者、中頓別町議会運営委員会委員長、長谷川克弘。

中頓別町議会個人情報保護条例の制定について。

上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第109条第7項及び会議規則第14条第3項の規定により提出します。

議案提出の理由についてご説明いたします。個人情報保護法が改正され、令和5年4月からは本町にも個人情報保護法が直接適用されます。議会につきましては、国会や裁判所が改正法による個人情報の取扱いに係る規律の対象外となっていることとの整合性を図るため、地方公共団体の行政機関等の個人情報の取扱いに係る義務等に関する規律の対象外となり、議会の自律的な対応の下、個人情報の適切な取扱いが必要となりました。現行条例では、町議会も実施機関として位置づけ、制度を運用してきましたが、今後は町議会の個人情報保護に必要な事項については町議会が独自に例規を整備する必要がありますので、各位のご賛同をお願い申し上げます。各条文について説明し、提案いたします。

この条例は章立てとしており、第1章、総則、第2章、個人情報等の取扱い、第3章、個人情報取扱事務登録簿、第4章、開示、訂正及び利用停止、第5章、雑則、第6章、罰則及び附則から成り、第4章は第1節、開示、第2節、訂正、第3節、利用停止、第4節審査請求で構成されております。

第1条、目的では、議会が保有する個人情報に関わる個人の権利の保護を規定。

第2条、定義では、この条例における定義を規定するもので、法に基づき第9項にわたり規定しております。

第3条、議会の責務では、適正な取扱いの確保を措置する旨を規定。

第4条、個人情報の保有の制限等では、目的外利用及び保有の禁止を規定。

第5条、利用目的の明示では、第1号から第4号の場合を除き、事前に本人に対して利用目的を明示することを規定。

第6条、不適正な利用の禁止では、違法または不当な行為の助長、誘発の禁止を規定。

第7条、適正な取得では、不正の手段による個人情報の取得の禁止を規定。

第8条、正確性の確保では、保有個人情報の過去と現在の合致を規定。

第9条、安全管理措置では、情報の漏えい、滅失、毀損の防止のための安全管理と委託先における取扱いへの準用を規定。

第10条、議員等の義務では、守秘義務を規定。

第11条、漏えい等の報告等では、個人情報に関わり個人の権利利益を害するおそれのある場合の議会への報告、本人への通知及び住民への説明を規定。

第12条、利用及び提供の制限では、第2項第1号から第4号の理由以外での目的外利用の制限及び議会内部の利用においても最小限にとどめる旨を規定。

第13条、保有特定個人情報の利用及び提供の制限では、個人の生命、身体または財産

の保護の必要がある場合以外での目的外利用の制限を規定。

第14条の保有個人情報及び第15条の個人関連情報の提供を受ける者に対する措置要求では、情報を受けた者へ適切な管理を求めることとする旨を規定。

第16条の仮名加工情報及び第17条の匿名加工情報の取扱いの義務では、情報の詮索、第三者への提供の禁止など適切な管理の取扱いを規定。

第18条では、個人情報取扱事務登録簿の作成と公表を規定するとともに、第2項では適用除外項目を明記。

第19条、開示請求権では、保有個人情報の開示請求を規定するとともに、第20条では開示請求の手続を規定。

第21条、保有個人情報の開示義務では、第1号から第5号に掲げる情報が含まれている場合を除き、原則開示請求者に開示を要する旨を規定。

第22条、部分開示では、容易であれば不開示情報等を部分的に取り除いて開示できる旨を規定。

第23条、裁量的開示では、特に必要な場合、議長の裁量権で開示できる旨を規定。

第24条、保有個人情報の存否に関する情報では、存否の公表だけでも支障が伴う場合、保有個人情報の存否を拒否することができる規定。

第25条、開示請求に対する措置では、開示請求者に対し開示の有無にかかわらず通知を要する旨を規定。

第26条では、開示決定等の期限を30日以内とし、困難な場合には60日以内と定め、第27条では期限の特例によりさらなる延長と段階的な開示と通知を規定。

第28条、第三者に対する意見書提出の機会の付与では、情報の開示に当たり第三者の情報が含まれる場合、第三者の意見書提出の機会を与える旨を規定、また第3項では反対の意思表示をした場合の手続を規定。

第29条では、開示の実施の取扱い及び第30条では法令または他の条例による開示との調整を規定。

第31条、費用負担では、開示請求に係る手数料は無料とするが、写し等の交付に関しては有料である旨を規定。

第32条から第38条までは、手続等における訂正を規定するもので、請求権、請求の手続、保有個人情報の訂正義務、訂正請求に対する措置、訂正決定等の期限及びその特例、保有個人情報の提供先への通知をそれぞれ規定。

第39条から第44条までは、利用停止を規定するもので、利用停止請求権、利用停止請求の手続、保有個人情報の利用停止義務、利用停止請求に対する措置、利用停止決定等の期限及びその特例をそれぞれ規定するものです。

第45条、審理員による審理手続に関する規定の適用除外では、開示等に関わる不作為に係る審査請求は行政不服審査法の審理員による審理手続に関する規定第9条第1項の適用除外とし、第46条による中頓別町情報公開・個人情報保護審査会に諮問しなくてはな

らないとする旨の規定、またその制限及び手続を併せて規定するものです。

第47条では、第三者からの審査請求を棄却する場合等における手続を規定。

第48条、適用除外では、情報整理ができていない情報の適用除外を規定。

第49条では、開示請求等をしようとする者に対する情報の提供等を適切に措置する旨を規定。

第50条では、個人情報等の取扱いに関する苦情処理、第51条では本条例の施行状況の公表を規定。

第52条は、議長への委任を規定。

第53条から第56条までは、法に基づき各不当行為に対する罰則を規定したものです。

附則第1項、この条例は、令和5年4月1日から施行する。

第2項、経過措置では、本条例の施行日前の取扱いを規定いたしました。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより発委第1号について採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、発委第1号 中頓別町議会個人情報保護条例は原案のとおり可決されました。

◎議案第12号

○議長（村山義明君） 日程第16、議案第12号 令和4年度中頓別町一般会計補正予算を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第12号 令和4年度中頓別町一般会計補正予算について、笹原総務課参事から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 笹原総務課参事。

○総務課参事（笹原 等君） 議案第12号 令和4年度中頓別町一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

予算書1ページをお開き願います。令和4年度中頓別町一般会計補正予算。

令和4年度中頓別町の一般会計補正予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条第1項 既定の歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ2,875万1,000円を減額し、歳入歳出の予算の総額を歳入歳出それぞれ44億9,261万4,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

(繰越明許費)

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表繰越明許費」による。

(地方債の補正)

第3条 既定の地方債の変更は、「第3表地方債補正」による。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

6ページをお開き願います。第2表、繰越明許費は、4款衛生費、1項保健衛生費、環境保全活動推進事業288万2,000円、8款土木費、2項道路橋梁費、中頓別弥生線交付金事業1億400万円、12款諸支出金、1項特別会計繰出金、特別会計繰出金事業4,890万円をそれぞれ翌年度に繰り越して執行するものでございます。繰越しの理由でございますが、環境保全活動推進事業につきましては電気自動車導入に伴う充電設備の設置工事が新型コロナウイルス感染症の影響により部材の納入が困難となり、年度内の工事完了が見込めないこと、中頓別弥生線交付金事業につきましても資材調達が間に合わず、年度内に予定されていた工事完了が見込めないこと、特別会計繰出金事業につきましても水道事業特別会計への繰出金となりますが、機械、電気設備更新工事のうち半導体を使用した機器で年度内の納品が見込めないことから、それぞれ令和5年度に繰り越して執行するものでございます。

第3表、地方債補正でございます。起債の目的、過疎対策事業債では、限度額を変更前7億3,380万円から変更後5億6,090万円とするもので、起債の方法、利率等に変動はございません。変更になった事業についてご説明いたします。過疎地域持続的発展特別事業の限度額を変更前7,690万円から変更後6,720万円に、森林管理道松麿線開設事業の限度額を変更前1,610万円から変更後1,580万円に、橋梁長寿命化修繕事業の限度額を変更前840万円から変更後720万円に、中頓別弥生線交付金事業の限度額を変更前1億2,590万円から変更後6,240万円に、医療機械器具購入事業の限度額を変更前630万円から変更後470万円に、特定環境保全公共下水道整備事業の限度額を変更前2,730万円から変更後2,390万円に、草地整備型公共牧場整備事業の限度額を変更前1億630万円から変更後3,390万円に、中頓別浄水場設備更新事業の限度額を変更前1億3,780万円から変更後1億2,940万円に、橋梁添架管・配水管布設替事業の限度額を変更前280万円から変更後260万円に、藤井原野線整備事業の限度額を変更前710万円から変更後650万円に、認定こども園園庭整備事業の限度額を変更前3,500万円から変更後3,430万円に、地域交通維持車両購

入事業の限度額を変更前2,360万円から変更後2,000万円に、スクールバス購入事業の限度額を変更前5,100万円から変更後4,370万円に変更するものでございまして、いずれも事業費の確定、精査によるものでございます。

続きまして、起債の目的、辺地対策事業債では、限度額を変更前4,600万円から変更後3,850万円とするもので、起債の方法、利率等に変動はございません。内容は、林業専用道天北線開設事業の限度額を変更前980万円から変更後870万円に、秋田原野線交付金事業の限度額を変更前3,620万円から変更後2,980万円に変更するものでございます。

8ページをお開き願います。続きまして、起債の目的、緊急自然災害防止対策事業債では、限度額を変更前1,650万円から変更後1,200万円とするもので、起債の方法、利率等に変動はございません。変更事業としまして、道路施設予防保全事業の限度額を変更前410万円から変更後380万円に、除雪機械整備事業の限度額を変更前420万円からゼロ円に変更するものでございます。

続きまして、事項別明細書、歳出からご説明をいたします。予算書36ページをお開き願います。今回の予算につきましては、多くの款、項、目におきまして人件費、物件費あるいは事業費確定、取りやめに伴い既定予算の精査、不用額の減額、決算見込み等に基づく補正でございます。そのため、減額補正分につきましては詳細の説明を省略をさせていただきますので、ご了承願います。

1款1項1目議会費では、既定額から190万2,000円を減額し、4,806万4,000円とするもので、3節職員手当等から18節負担金補助及び交付金までいずれも実績見込みに基づく不用額の減額でございます。なお、人件費の詳細につきましては88ページ以降の給与費明細書をご参照願います。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費では、既定額から1,084万9,000円を減額し、5億3,954万5,000円とするもので、追加となったものとしたしましては、39ページでございます。総務関連事務事業で6万4,000円の追加、8節旅費で職員の移転料改正に伴い24万5,000円を追加したものでございまして、その他の費用については減額、またその他の事業につきましても予算精査による不用額の減額でございます。詳細につきましては、別に配付してございます総務課総務グループ作成の予算説明資料をご参照願います。

38ページ、2目財政管理費では、既定額から14万6,000円を減額し、910万5,000円とするもので、追加項目は物品管理事業、10節事業費で庁内で使用するコピー用紙やトナー代など事務消耗品費として12万5,000円を追加、そのほかにつきましては実績見込みに基づく不用額の減額でございます。詳細につきましては、別に配付してございます総務課政策経営室作成の説明資料をご参照願います。

3目文書広報費では、既定額から23万6,000円を減額し、392万4,000円とするもので、実績見込みに基づく不用額の減額。

4目財産管理費では、既定額から1,243万4,000円を減額し、1億1,138万9,000円とするもので、追加項目は41ページのところでございます。役場庁舎維持管理事業、17節備品購入費で庁舎内で使用する職員用の机や椅子の購入費用として30万円を追加、そのほかにつきましては実績見込みに基づく不用額の減額でございます。

40ページでございます。5目企画費では、既定額から1,950万1,000円を減額し、1億643万6,000円とするもので、41ページ、いきいきふるさと推進事業から47ページ上段、コモンズ形成事業の13節使用料及び賃借料まで事業実績見込みに基づく予算の精査、不用額の減額でございます。

46ページ、7目生活安全推進費では、既定額から63万7,000円を減額し、468万5,000円とするもので、生活安全推進事業、自治組織運営支援事業ともにコロナの影響による事業の中止を含め実績見込みに基づく不用額の減額。

8目防災対策費では、既定額から24万7,000円を減額し、1,154万2,000円とするもので、事業実績見込みによる減額でございます。

9目バス転換関連施設維持管理費では、既定額から13万7,000円を減額し、321万4,000円とするもので、不用額の減額。

11目新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費では、既定額から583万7,000円を減額し、1億105万2,000円とするもので、追加項目といたしましては10節需用費でPCR検査用試薬の追加や感染症予防に必要なマスク、グローブなどの消耗品費として220万8,000円を追加したものでございまして、そのほかにつきましては入札減を含め、いずれも実績見込みに基づく不用額の減額でございます。

48ページをお開きいただきまして、2項徴税费、1目税務総務費では、既定額から33万円を減額し、1,000万1,000円とするもので、いずれも実績見込みに基づき不用額を減額。

3項1目戸籍住民基本台帳費では、既定額から36万5,000円を減額し、3,863万9,000円とするもので、追加項目としましては住民事務事業、3節職員手当等で時間外や休日でのマイナンバーカード受付対応に伴い職員時間外手当10万4,000円を追加、そのほかにつきましてはいずれも実績見込みによる不用額の減額でございます。

50ページでございます。4項選挙費、1目選挙管理委員会費では、既定額から14万5,000円を減額し、69万4,000円とするもので、8節旅費、10節需用費ともに不用額の減額。

2目選挙啓発費では、既定額の8,000円を皆減、3目在外選挙費でも既定額の2,000円を皆減するもので、いずれも支出が見込まれないため減額。

5目参議院議員選挙費では、既定額から2万9,000円を減額し、348万円とするもので、8節旅費、11節役務費で事業費確定に伴う不用額の減額。

5項統計調査費、1目統計調査総務費では、既定額から5万8,000円を減額し、4万1,000円とするもので、就業構造基本調査の実施が行われなかったことによる不用

額の減額。

6 項 1 目 監査委員費では、既定額から 3 万 8, 0 0 0 円を減額し、1 1 8 万 5, 0 0 0 円とするもので、監査委員事務事業、8 節旅費で実績見込みに基づく不用額の減額でございます。

3 款 民生費、1 項 社会福祉費、5 2 ページをお開きいただきまして 1 目 社会福祉総務費では、既定額から 2 3 万 1, 0 0 0 円を減額し、4, 2 1 6 万 5, 0 0 0 円とするもので、社会福祉総務事業、2 節 給料で地域おこし協力隊の給料に不足が見込まれますことから 3 万 6, 0 0 0 円を追加、1 0 節 需用費では 4 月からデイサービス事業及び訪問介護事業を直営で実施するに当たり被服を購入するための費用として 3 1 万円を追加、そのほか戦没者追悼平和祈念式開催事業から地域生活サポート事業まで事業実績見込みによる予算の精査、不用額の減額でございます。詳細につきましては、別に配付しております保健福祉課作成の予算説明資料をご参照願います。

2 目 老人福祉費では、既定額に 2, 1 1 5 万 2, 0 0 0 円を追加し、2 億 5, 5 0 2 万円とするもので、敬老会開催事業から養護老人ホーム入所事業まで実績見込みによる不用額の減額、老人福祉事業では 1 8 節 負担金補助及び交付金で南宗谷福社会長寿園の今年度の決算見込みで収支不足が見込まれますことから運営費の一部として 2, 7 1 4 万 8, 0 0 0 円を追加、居宅介護支援事業所運営費助成事業では 1 8 節 負担金補助及び交付金で介護医療院介護保険事業の運営に係る補助として 1, 0 5 4 万 3, 0 0 0 円を追加するものがございます。

3 目 国民年金費では、既定額から 3 万円を減額し、1 万 1, 0 0 0 円とするもので、国民年金事務事業、8 節 旅費、5 5 ページ 上段、1 0 節 需用費ともに実績見込みによる不用額の減額。

5 4 ページでございます。4 目 障害者福祉費では、既定額に 7 7 9 万 5, 0 0 0 円を追加し、1 億 2, 9 5 3 万 7, 0 0 0 円とするもので、障害者総合支援給付事業、8 節 旅費では予算精査による不用額の減額でございますが、1 9 節 扶助費で障害者福祉サービスに関し報酬改定や利用件数の増、過年度の精算分などにより 8 0 0 万円を追加。

5 目 災害救助費では、既定額の 1, 1 0 0 万円を皆減するもので、災害救助事業において災害見舞金、災害弔慰金、災害貸付金のいずれも支出見込みがないと判断したところでございます。

6 目 重度心身障害者特別対策費では、既定額から 1 0 0 万円を減額し、6 0 0 万 2, 0 0 0 円とするもので、重度心身障害者医療給付事業、1 9 節 扶助費で実績見込みによる不用額の減額。

7 目 地域福祉対策事業費では、既定額から 2 0 万円を減額し、4 4 6 万 1, 0 0 0 円とするもので、緊急通報システム事業、1 2 節 委託料で新規申込みがなかったことによる不用額の減額。

8 目 介護福祉センター費では、既定額に 8 万円を追加し、5 8 1 万 8, 0 0 0 円とする

もので、介護福祉センター管理事業、11節役務費で介護福祉センターの電話料に不足が生じる見込みでございますことから同額を追加。

9目次世代育成支援対策費では、既定額から6万円を減額し、44万3,000円とするもので、次世代育成支援対策事業で事業実績による不用額の減額。

11目住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費では、既定額から270万円を減額し、262万2,000円とするもので、19節扶助費で事業費の確定に伴い同額を減額。

2項児童福祉費、56ページをお開きいただきまして2目児童措置費では、既定額から50万5,000円を減額し、1,410万9,000円とするもので、児童手当支給事業、19節扶助費で対象児童数の減による減額。

4目認定こども園費では、既定額から675万8,000円を減額し、6,320万6,000円とするもので、認定こども園事業、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで事業実績に基づく予算の精査、不用額の減額でございます。

5目地域子育て支援費では、既定額から32万4,000円を減額し、54万3,000円とするもので、地域子育て支援事業、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで事業実績に基づく予算の精査、不用額の減額でございます。

58ページでございます。6目放課後児童健全育成費では、既定額から11万2,000円を減額し、642万円とするもので、放課後児童健全育成事業、8節旅費、18節負担金補助及び交付金で不用額の減額。

7目こども包括支援費では、既定額から251万3,000円を減額し、570万円とするもので、子ども・子育て支援事業、ファミリーサポートセンター事業、子育て世代包括支援センター事業、いずれも事業実績見込みによる不用額の減額でございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目予防費では、既定額から530万5,000円を減額し、2,900万7,000円とするもので、感染症予防事業、保健予防事業では実績見込みによる不用額の減額、61ページ上段、予防接種事業では12節委託料、19節扶助費で不用額の減額となっておりますが、22節償還金利子及び割引料で過年度の国庫負担金の額確定に伴う返還金6万円を新規計上、新型コロナウイルスワクチン接種事業では事業の実績見込みによる不用額の減額でございます。

2目母子衛生費では、既定額から28万円を減額し、509万1,000円とするもので、母子健康相談健康教育事業につきましては不用額の減額、母子健診事業、12節委託料では実績見込みによる不用額の減額でございますが、22節償還金利子及び割引料で過年度の国庫補助金の額確定に伴う返還金8万円を追加計上。

3目環境衛生費では、既定額から207万8,000円を減額し、1億2,491万7,000円とするもので、環境衛生事業、環境保全活動推進事業ともに予算精査による不用額の減額。

62ページでございます。4目墓地火葬場費では、既定額から42万8,000円を減

額し、317万3,000円とするもので、墓地火葬場維持管理事業、10節需用費、14節工事請負費で予算精査による不用額の減額。

5目病院費では、既定額に5,761万6,000円を追加し、3億2,620万4,000円とするもので、国民健康保険病院事業運営補助事業において国保病院事業会計予算の決算の見通しに合わせまして18節負担金補助及び交付金、運営事業補助で5,993万1,000円、基礎年金拠出金公的負担金で34万8,000円、救急医療費で12万1,000円をそれぞれ追加、研究研修費、建設改良費、過疎債分、単独備品購入、共済追加費用負担分をそれぞれ減額するものでございます。

6目診療所費では、既定額から1,500万円を減額し、1,320万5,000円とするもので、歯科診療所委託事業、12節委託料で事業実績見込みによる不用額の減額。

7目地域保健対策費では、既定額から4万円を減額し、37万1,000円とするもので、地区組織活動事業、8節旅費で実績見込みによる不用額の減額。

8目健康増進費では、既定額から257万5,000円を減額し、471万5,000円とするもので、がん検診事業から65ページ上段、健康増進事務事業まで新型コロナウイルス感染症による事業の中止を含め事業実績見込みによる不用額の減額でございます。

5款労働費、1項1目労働諸費では、既定額から2万4,000円を減額し、3万6,000円とするもので、稚内雇用対策協議会関係事業、8節旅費、10節需用費、18節負担金補助及び交付金で実績見込みによる不用額の減額。

6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費では、既定額から91万5,000円を減額し、225万8,000円とするもので、農業委員会活動促進事業、機構集積支援事業、67ページを御覧いただきまして農業担い手対策事業、いずれも事業実績に基づく予算の精査、不用額の減額でございます。

66ページでございます。2目農業振興費では、既定額から984万4,000円を減額し、8,064万7,000円とするもので、中頓別町農業体験交流施設管理運営事業から酪農振興支援事業まで事業実績見込みに基づく不用額の減額。

3目畜産業費では、既定額から6,809万6,000円を減額し、9,430万2,000円とするもので、追加となった項目といたしましては69ページ、畜産振興事業、18節負担金補助及び交付金で草地更新の実施実績に基づき48万円を追加、その他の事業につきましてはコロナの影響による事業の中止を含め、いずれも事業実績見込みによる減額でございます。

68ページでございます。4目有害鳥獣対策費では、既定額に96万円を追加し、1,980万8,000円とするもので、有害鳥獣対策費、7節報償費でエゾシカ捕獲に係る道補助金の対象頭数が既に予算計上済みの405頭分から95頭分が追加となり、合わせて500頭分措置されることとなったため、追加となった頭数分の捕獲報償費76万円を追加、また12節委託料では捕獲頭数の追加により処理業務に係る人件費、燃料費の増加が見込まれるため20万円を追加するものでございます。

5目農業者年金費では、既定額から22万4,000円を減額し、8万7,000円とするもので、農業者年金委託事務、8節旅費、10節需用費、18節負担金補助及び交付金、いずれも実績見込みによる不用額の減額でございます。

2項林業費、1目林業振興費では、既定額から237万5,000円を減額し、4,296万2,000円とするもので、追加となった項目としましては71ページ、3つ目の事業になりますが、中頓別町民有林森林整備振興事業、18節負担金補助及び交付金で造林の面積が増えたことにより22万4,000円を追加、その他の事業につきましては事業実績見込みによる減額でございます。

70ページでございます。2目林道費では、既定額から248万4,000円を減額し、3,708万5,000円とするもので、道営林道事業、林業専用道天北線開設事業ともに事業の確定による不用額の減額でございます。

7款1項商工費、2目観光費では、既定額から290万2,000円を減額し、8,226万5,000円とするもので、観光協会事業補助から73ページ上段、インバウンド観光推進事業までコロナの影響による事業の中止や実績見込みによる不用額の減額でございます。

72ページでございます。8款土木費、2項道路橋梁費、1目道路維持費では、既定額に1,074万5,000円を追加し、2億1,638万5,000円とするもので、除排雪事業、10節需用費で除雪車両の修繕費として200万円を追加、12節委託料で燃料費の高騰や降雪量の増加に伴う出勤回数が増などを見込み900万円を追加、道路維持補修事業につきましては事業実績見込みによる減額でございます。詳細につきましては、別に配付しております建設課建設グループ作成の補正予算説明資料をご参照願います。

3目道路新設改良費では、既定額から7,221万4,000円を減額し、2億8,469万2,000円とするもので、普通建設事業（単独）から藤井原野線整備事業まで、いずれも事業費確定に伴う不用額の減額でございます。

74ページをお開き願います。5項住宅費、1目住宅管理費では、既定額から134万4,000円を減額し、3,920万7,000円とするもので、公営住宅維持管理事業、8節旅費、12節委託料、14節工事請負費で実績見込みによる不用額の減額。

2目住宅建設費では、既定額から89万円を減額し、2,450万9,000円とするもので、危険廃屋解体撤去助成事業、18節負担金補助及び交付金で実績見込みによる不用額の減額、22節償還金利子及び割引料では過年度の補助金返還が生じたことにより24万円を計上するものでございます。

9款消防費、1項1目消防費では、既定額から911万4,000円を減額し、1億2,868万7,000円とするもので、消防事業、18節負担金補助及び交付金で南宗谷消防組合の負担金を減額するものでございます。詳細につきましては、別冊で配付してございます令和4年度一般会計予算（別紙内訳）明細書でご説明をいたします。明細書の3ページをお開きいただきたいと思います。1項常備消防費、1目消防本部費では、既定額か

ら12万8,000円を減額し、833万4,000円とするもので、消防本部事業、18節負担金補助及び交付金で予算精査による減額。2目中頓別支署費では、既定額から857万4,000円を減額し、1億1,061万5,000円とするもので、消防署管理事業で工事請負費の入札減などの精査によりまして事業全体で29万6,000円を減額、消防庶務業務につきましても予算精査により1万8,000円を減額、警防業務事業では10節需用費で消防車の故障修理がかさみ4万8,000円を追加、また26節公課費では車両の用途変更によりまして自動車重量税で1万3,000円を追加する一方、11節役務費では空気ボンベ耐圧検査における手数料など16万5,000円を減額し、事業全体で10万4,000円を減額、消防各種研修事業ではコロナ禍の影響による各種研修の中止やウェブ開催への変更によりまして旅費や負担金などの不用額を事業全体として7万6,000円を減額、救急業務事業では8節旅費で事例検証の中止、救急転院搬送の減によりまして15万7,000円を減額、6ページをお開きいただきまして、12節委託料では感染性ウイルス検査対象者の減やB型肝炎検査の対象者が少なかったことなどによりまして委託料全体で14万7,000円を減額、17節備品購入費では入札減などによりまして25万6,000円を減額、事業全体で69万6,000円を減額しております。消防学校派遣事業では、12節委託料で学校入校に伴う健康診断が不要となり、皆減したほか、予算精査によりまして事業全体で10万8,000円を減額、給与関連業務では事業全体で727万6,000円を減額するもので、主に人事異動に伴う予算精査による減額で、2節給料で300万5,000円、3節職員手当等では扶養、期末、勤勉、児童手当などを減額したほか、昇格人事に伴いまして夜間勤務、休日勤務など当直勤務に関連した手当を減額した一方、管理職手当では88万6,000円を追加するほか、管理職特別勤務手当72万円を計上、8ページをお開きいただきまして、コロナ感染者及び感染疑い傷病者の救急搬送、移送に伴い防疫作業手当で56万9,000円を追加し、増減合わせまして245万9,000円を減額するものでございます。4節共済費では、共済組合負担金、追加費用負担金合わせまして175万8,000円を減額するもので、給料の減額に伴う算定基礎額の変更による減額でございます。7ページでございます。2項非常備消防費、1目中頓別消防団費では、既定額から35万5,000円を減額し、709万8,000円とするもので、消防団員管理業務では消防団員の退団に伴う減額で、これに関連する各節の予算精査により事業全体で28万3,000円を減額、消防分団管理業務では消防団詰所の管理に係る光熱水費、役務費、備品購入費の予算精査で7万2,000円を減額。3項消防施設費、1目中頓別消防施設費では、既定額から5万7,000円を減額し、264万円とするもので、消防施設整備事業、14節工事請負費で消火栓更新工事に伴う入札減によるものでございます。

続きまして、補正予算書74ページにお戻り願います。10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費では、既定額から12万3,000円を減額し、68万4,000円とするもので、教育委員会事業、8節旅費で10万5,000円、10節需用費で1万8,

000円、いずれも予算精査による不用額の減額。

2目事務局費では、既定額から2,347万7,000円を減額し、1億3,597万6,000円とするもので、外国青年招致事業は事業実績見込みにより不用額を減額、教育委員会事務局事業では77ページになります。4節共済費で昇給等に伴う共済組合負担金の不足見込額99万6,000円を追加したほかは、1節報酬、8節旅費、12節委託料で不用額を減額、事業全体では109万4,000円の減額、教職員健康診断事業（人間ドック）では18節負担金補助及び交付金で教職員健康診断受診に対する負担金に不足が見込まれますことから2万4,000円を追加、公用車両維持管理事業では10節需用費で車両修繕費25万円を追加計上、英語力育成事業、学習習慣育成事業、中頓別学園整備事業につきましてはコロナの影響による事業の中止を含め事業実績見込みによる不用額の減額でございます。詳細につきましては、教育委員会作成の説明資料をご参照願います。

3目住宅管理費では、既定額から30万円を減額し、131万6,000円とするもので、教職員住宅管理事業、21節補償補填及び賠償金で教職員住宅の修繕に伴い代替住宅への転居による住宅料の差額補償金30万円を皆減。

2項小学校費、1目学校管理費では、既定額に15万円を追加し、3,866万7,000円とするもので、小学校施設維持管理事業、10節需用費で同額を追加、電気料に不足が見込まれますことから追加するものでございます。

2目教育振興費では、既定額から23万9,000円を減額し、268万3,000円とするもので、就学奨励事業、19節扶助費で特別支援教育就学奨励費の実績見込みにより23万9,000円を減額。

3項中学校費、2目教育振興費では、既定額から21万4,000円を減額し、225万1,000円とするもので、就学奨励事業、19節扶助費で特別支援教育就学奨励費の実績見込みにより同額を減額。

78ページをお開き願います。4項社会教育費、1目社会教育総務費では、既定額から304万円を減額し、686万8,000円とするもので、社会教育推進事業から79ページ下段、夢と希望を感動体験事業までコロナの影響による事業の中止を含めまして事業実績見込みによる不用額の減額でございます。

80ページをお開き願います。2目町民センター費では、既定額に70万2,000円を追加し、926万4,000円とするもので、町民センター運営維持管理事業、10節需用費で電気料に不足が見込まれますことから46万2,000円を追加、また職員玄関ほか6か所のドア修繕費として24万円を追加、合わせまして70万2,000円を追加するものでございます。

3目社会教育施設費では、既定額から8,000円を減額し、627万6,000円とするもので、読書活動推進事業、8節旅費で不用額を減額。

4目多目的集会施設費では、既定額に5万5,000円を追加し、101万9,000円とするもので、多目的集会施設維持管理事業、10節需用費で電気料に不足が見込まれ

ますことから同額を追加。

5目創作活動施設費では、既定額に変更はございません。特定財源の減額とそれに伴う一般財源の追加でありまして、財源の振替のみでございます。

5項保健体育費、1目保健体育総務費では、既定額から21万3,000円を減額し、344万5,000円とするもので、社会体育推進事業では実績見込みによる不用額の減額、社会体育施設運営事業では町民体育館における電気料に不足が見込まれますことから4万2,000円を追加するものでございます。

2目山村プール費では、既定額から25万円を減額し、205万1,000円とするもので、山村プール運営事業、1節報酬、10節需用費、11節役務費で実績見込みによる不用額の減額。

82ページをお開きいただきまして、3目寿野外レクリエーション施設費では、既定額から3万3,000円を減額し、3,001万円とするもので、寿野外レクリエーション施設費、8節旅費で一部出張を取りやめたことによる不用額の減額。

4目学校給食費では、既定額から338万9,000円を減額し、1,593万4,000円とするもので、学校給食事業、1節報酬、2節給料、3節職員手当等、4節共済費まで実績見込みによる会計年度任用職員に係る人件費分395万7,000円を減額、8節旅費では出張の実績見込みによりまして7万4,000円を減額、10節需用費では重油代と電気料に不足が見込まれますことから合わせまして64万2,000円を追加するものでございます。

11款1項公債費、1目元金では、既定額に22万6,000円を追加し、4億9,242万4,000円とするもので、平成23年度に借りました臨時財政対策債の利率見直しに伴い追加するものでございます。なお、借りました元金の償還総額自体が変わるものではございません。

2目利子では、既定額に86万5,000円を追加し、1,244万2,000円とするもので、地方債償還利子として平成23年度借入れの臨時財政対策債の利率見直し及び令和3年度借入分の利率の確定により追加しているものでございます。

12款諸支出金、1項1目特別会計繰出金では、既定額から567万9,000円を減額し、3億3,029万5,000円とするもので、27節繰出金として各会計の決算見込みに基づき自動車学校事業特別会計に対し710万2,000円を追加、水道事業特別会計から1,040万8,000円、下水道事業特別会計から92万2,000円、後期高齢者医療事業特別会計から145万1,000円をそれぞれ減額するものでございます。

2項基金費、84ページをお開きいただきまして1目畜産振興基金費では、既定額から23万8,000円を減額し、54万9,000円とするもので、特定財源となります国営草地弥生団地貸付収入の減額分23万8,000円を減額するものでございます。

2目ふるさと応援寄附基金費では、既定額に90万8,000円を追加し、210万8,000円とするもので、寄附金から返礼品や送料等の諸経費を除いた額を積み立てるもの

として計上するものでございます。

3目森林環境譲与税基金費では、既定額に32万7,000円を追加し、1,557万1,000円とするもので、基金の利息1,000円と森林環境譲与税分32万6,000円の追加でございます。

4目地域活性化基金費では、既定額に1億7,952万4,000円を追加し、1億7,953万4,000円とするもので、基金の利息1万3,000円と今年度借入れを行う過疎対策事業債のソフト分6,720万円、さらに過疎、辺地対策事業債の当該年度の借入額の1億円を超える額に係る元利償還金の交付税算入額を差し引いた額、具体的には元利償還金総額の過疎債で30%、辺地債で20%になりますが、その額が1億1,231万1,000円、合わせまして1億7,952万4,000円を追加するものでございます。

5目奨学金等償還支援基金費では、新規に基金の利息1,000円を計上、6目公共施設整備等基金費では基金の利息1万4,000円を計上、7目減債基金費では基金の利息1万4,000円を計上、8目まちづくり基金費では基金の利息3,000円を計上、9目地域福祉基金費では基金の利息3,000円を計上、10目財政調整基金費では基金の利息1万8,000円を計上、11目天北線代替輸送確保基金費では基金の利息7,000円を計上、86ページをお開きいただきまして、12目長寿園施設改修拡張事業基金費では基金の利息7,000円を計上、13目土地開発基金費では基金の利息1,000円を計上、14目中山間水と土保全基金費では基金の利息1,000円を計上、15目豊かな環境づくり基金費では基金の利息1,000円を計上、16目未来を担うこどもの健全育成と教育の基金費では基金の利息2,000円を計上、17目地方創生基金費では基金の利息5,000円と昨年度基金を充当した事業で委託料173万6,000円の戻入れがあったため、これを合わせました174万1,000円を積立金として計上、これらの積立てによりまして一般会計上の基金の総額は42億5,450万7,000円となる見込みでございます。

12ページをお開き願います。歳出合計、既定額から2,875万1,000円を減額し、44億9,261万4,000円とするものでございます。

続きまして、歳入についてご説明をいたします。歳入全体につきましても歳出同様、収入実績の確定、決算見込みに基づく補正が大部分となっております。14ページをお開き願います。1款町税、1項町民税、1目個人では、既定額から188万1,000円を減額し、7,623万7,000円とするもので、1節現年度課税分で200万円を減額する一方、2節滞納繰越分で11万9,000円を追加、いずれも徴収実績を勘案しての補正でございます。

2目法人では、既定額に50万円を追加し、676万円とするもので、1節現年度課税分の収入見込みを勘案しての追加。

2項1目固定資産税では、既定額に61万4,000円を追加し、5,789万2,0

00円とするもので、1節現年度課税分で45万円、2節滞納繰越分で16万4,000円を追加、収入見込みを勘案しての補正。

3項1目軽自動車税では、既定額から9万6,000円を減額し、456万2,000円とするもので、1節現年度課税分で10万円を減額する一方、2節滞納繰越分で4,000円を追加。

2目環境性能割では、既定額に24万7,000円を追加し、30万7,000円とするもので、1節環境性能割で収入見込みを勘案して追加。

4項1目たばこ税では、既定額に200万円を追加し、1,552万7,000円とするもので、1節現年度課税分で収入見込みを勘案しての追加。

5項1目入湯税では、既定額に20万円を追加し、68万7,000円とするもので、1節現年度課税分で収入見込みを勘案しての追加でございます。

2款地方譲与税、1項1目地方揮発油譲与税では、既定額に43万1,000円を追加し、1,503万1,000円とするもの、2項1目自動車重量譲与税では既定額に645万6,000円を追加し、4,058万1,000円とするもの、3項1目森林環境譲与税では既定額に32万6,000円を追加し、1,557万円とするもの、16ページをお開きいただきまして、5款1項1目株式等譲渡所得割交付金では既定額に45万円を追加し、50万円とするもの、6款1項1目法人事業税交付金では既定額に189万6,000円を追加し、209万6,000円とするもの、7款1項1目地方消費税交付金では既定額に2,108万1,000円を追加し、4,308万1,000円とするもの、8款1項1目自動車税環境性能割交付金では既定額から128万8,000円を減額し、471万2,000円とするもの、10款1項1目地方特例交付金では既定額に26万6,000円を追加し、26万7,000円とするもの、11款1項地方交付税、1目普通交付税では既定額に2,985万8,000円を追加し、20億4,838万5,000円とするもの、2目特別交付税では既定額に6,317万円を追加し、2億7,326万7,000円とするもので、いずれも歳出の一般財源に充当。

18ページをお開きいただきまして、13款使用料及び手数料、1項使用料、2目民生使用料では、既定額から9万7,000円を減額し、23万3,000円とするもので、1節放課後子どもプラン利用料で参加児童の減によりまして同額を減額。

3目衛生使用料では、既定額から1,200万円を減額し、1,262万6,000円とするもので、3節歯科診療所使用料で同額を減額。

4目農業使用料では、既定額から52万1,000円を減額し、367万9,000円とするもので、1節町営牧場使用料で利用頭数の減によりまして同額を減額。

5目土木使用料では、既定額に494万5,000円を追加し、5,481万4,000円とするもので、2節公営住宅使用料から9節おためし暮らし住宅使用料まで各節とも収入実績、見込みを基に追加するものでございます。

6目教育使用料では、既定額から30万2,000円を減額し、35万8,000円と

するもので、1節学校体育館使用料から21ページ、8節創作活動施設使用料まで各節とも収入実績、見込みを基に追加、減額するものでございます。

20ページでございます。2項手数料、1目総務手数料では、既定額に18万7,000円を追加し、110万6,000円とするもので、1節戸籍手数料から6節地籍成果簿閲覧手数料まで各節とも収入実績、見込みを基に追加。

2目衛生手数料では、既定額に8万4,000円を追加し、350万8,000円とするもので、3節一般廃棄物処理手数料で収入見込みを基に同額を追加。

3目農業手数料では、既定額に7万円を追加し、67万6,000円とするもので、1節現地目証明手数料から3節有害鳥獣処理手数料まで収入実績、見込みを基に追加するものでございます。

14款国庫支出金、1項国庫負担金、2目衛生費国庫負担金では、既定額から100万円を減額し、819万8,000円とするもので、1節保健衛生費負担金で新型コロナウイルスワクチン接種委託料の減額に伴う減額でございます。

2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金では、既定額から164万9,000円を減額し、1億1,672万7,000円とするもので、1節地方創生推進交付金で歳出のコモンズ形成事業の実績見込みにより51万7,000円を減額、23ページ上段を御覧いただきまして、2節年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金では内容精査により30万8,000円を減額、4節社会保障・税番号制度システム事業費補助金から7節デジタル基盤改革支援補助金まで事業実績見込みにより追加、減額を行うものでございます。

2目民生費国庫補助金では、既定額から270万円を減額し、3,155万5,000円とするもので、4節住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業補助金で事業費の確定によりまして同額を減額。

3目衛生費国庫補助金では、既定額から102万4,000円を減額し、954万3,000円とするもので、1節保健衛生費補助金で70万4,000を減額、25ページ上段を御覧いただきまして、2節クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金で32万円を減額、いずれも事業の実績見込みによる減額でございます。

24ページでございます。4目土木費国庫補助金では、既定額から61万7,000円を減額し、2億19万3,000円とするもので、2節公営住宅建設事業等補助金で同額を減額、西団地公営団地外壁改修工事分で39万9,000円追加配分となったほかは、いずれも事業費の確定、実績見込みを勘案しての減額でございます。

5目教育費国庫補助金では、既定額から22万円を減額し、117万5,000円とするもので、1節へき地児童生徒援助費補助金では事業精査により6,000円を追加、2節特別支援教育就学奨励費補助金は該当者がいなかったため皆減するものでございます。

3項国庫委託金、1目総務費委託金では、既定額から2万9,000円を減額し、36万8,000円とするもので、3節参議院議員選挙委託金で事業費確定に伴い同額を減

額。

2目民生費委託金では、既定額から3万円を減額し、94万9,000円とするもので、1節国民年金事務委託金で事業費の確定による減額でございます。

15款道支出金、1項道負担金、2目民生費道負担金では、既定額から562万5,000円を減額し、4,420万6,000円とするもので、2節災害弔慰金負担金、7節災害見舞金負担金で事業実績見込みを勘案して皆減。

2項道補助金、1目総務費補助金では、既定額から17万4,000円を減額し、1,528万6,000円とするもので、1節深地層研究施設周辺地域特別対策事業補助金では補助金額の確定に伴い7万4,000円を減額、27ページ上段を御覧いただきまして、2節地域づくり総合交付金では事業費の確定に伴う減額と新たに交付対象となりました福祉灯油助成事業に対する交付金合わせまして65万円を追加、3節北海道移住支援金交付事業費補助金は実績見込みにより75万円を減額。

3目衛生費補助金では、既定額から2,000円を減額し、220万5,000円とするもので、1節健康増進事業補助金で事業実績見込みにより同額を減額。

4目農林業費補助金では、既定額から43万1,000円を減額し、6,597万9,000円とするもので、1節農業委員会補助金で北海道からの内示額によりまして151万5,000円を追加、2節造林事業補助金から15節次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業補助金まで事業実績による減額、16節鳥獣被害防止総合対策事業補助金で76万円、17節地域づくり総合交付金で25万円、それぞれエゾシカ捕獲に対する補助金として追加及び新規計上。

5目教育費補助金では、既定額から6万3,000円を減額し、69万8,000円とするもので、1節教育支援活動促進事業補助金で歳出の少年教育推進事業の事業実績見込みにより同額を減額。

3項道委託金、1目総務費委託金では、既定額から8万2,000円を減額し、468万1,000円とするもので、1節統計調査事務委託金から29ページ上段、5節在外選挙委託金まで各節ともに事業費の確定に伴う減額でございます。

28ページでございます。2目農林業費委託金では、既定額に9万5,000円を追加し、9万6,000円とするもので、2節農業農村整備事業監督等補助業務委託金で同額を計上、歳出の草地整備型公共牧場整備事業実施に係る補助監督業務委託料として新規計上。

4目災害貸付事業委託金では、災害援護資金貸付金の実績がないため、既定額350万円を皆減。

16款財産収入、1項1目財産運用収入では、既定額に8万2,000円を追加し、8万3,000円とするもので、歳出で説明のとおり、各基金の利子分を追加計上。

2目財産貸付収入では、既定額に32万9,000円を追加し、1,092万1,000円とするもので、1節土地貸付収入から3節施設貸付収入まで各節とも貸付実績及び見

込みを基に追加及び減額を行うものでございます。

2項財産売払収入、3目生産物売払収入では、既定額に815万2,000円を追加し、815万8,000円とするもので、1節立木売払収入として認定こども園園庭伐木工事、兵安、藤井地区町有林間伐工事及び上駒地区町有林間伐工事に係る素材販売代金を追加計上しております。

17款1項寄附金、2目指定寄附金では、既定額に50万円を追加し、320万円とするもので、寄附金の見込額による追加でございます。

30ページでございます。18款繰入金、1項基金繰入金、2目地域活性化基金繰入金では、既定額に10万円を追加し、7,919万3,000円とするもので、令和3年度の過疎対策事業債及び辺地対策事業債の借入に係る償還額確定に伴い後年度分の償還分として追加。

3目まちづくり基金繰入金では、既定額から893万8,000円を減額し、1,544万2,000円とするもので、歳出、企画費の地域づくり活動支援補助事業及び総合計画フォローアップ委託料の額確定に伴い減額。

4目未来を担うこどもの健全育成と教育の基金繰入金では、既定額から2,107万3,000円を減額し、527万円とするもので、歳出、教育費の英語力育成事業、学習習慣育成事業、夢と希望を感動体験事業の実績見込みにより減額。

5目地方創生基金繰入金では、既定額から993万8,000円を減額し、3,069万8,000円とするもので、歳出、企画費の新エネルギー導入事業、農林水産業費の酪農振興支援補助金、ミルクプラント運営事業、民有林森林整備振興事業、民生費のファミリーサポートセンター事業の実績見込みにより減額。

6目公共施設整備等基金繰入金では、既定額から1,604万8,000円を減額し、1億240万9,000円とするもので、役場庁舎や国保病院、農業体験交流施設、循環農業支援センターなど各施設における修繕等の実績に伴う減額でございます。

7目畜産振興基金繰入金では、既定額に48万円を追加し、298万円とするもので、農林水産業費、草地更新事業補助金に充当するため追加。

8目奨学金等償還支援基金繰入金では、既定額から23万6,000円を減額し、167万4,000円とするもので、歳出、総務費の奨学金等償還支援事業助成金の実績に伴い減額。

9目森林環境譲与税基金繰入金では、既定額から93万2,000円を減額し、1,431万2,000円とするもので、歳出、林業費の森林整備・林業振興事業の実績見込みに伴う減額でございます。

19款1項1目繰越金では、既定額に7,401万1,000円を追加し、1億7,391万8,000円とするもので、1節前年度繰越金に同額を計上。

32ページでございます。20款諸収入、4項受託事業収入、1目後期高齢者医療広域連合受託事業収入では、既定額から230万5,000円を減額し、808万円とするも

ので、収入見込みにより減額。

6項1目雑入では、既定額に3,242万円を追加し、5,611万4,000円とするもので、各所管の決算見込みによる種々雑多な収入の追加、減額計上でございます。なお、このうち建物災害共済保険は、強風による屋根破損や過年度の雪害に対する保険適用として2,659万1,000円を追加計上しております。

21款1項町債、1目過疎対策事業債では、既定額から1億7,290万円を減額し、5億6,090万円とするもの、34ページをお開きいただきまして、2目辺地対策事業債では既定額から750万円を減額し、3,850万円とするもの、4目緊急自然災害防止対策事業債では既定額から450万円を減額し、1,200万円とするものでございます。

予算書10ページをお開き願います。歳入合計、既定額から2,875万1,000円を減額し、歳入総額を44億9,261万4,000円とし、歳入歳出のバランスを取っております。

以上、説明とさせていただきます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（村山義明君） ここで議場の時計で3時43分まで休憩します。

休憩 午後 3時33分

再開 午後 3時43分

○議長（村山義明君） 休憩前に戻り会議を続けます。

説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第12号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第12号 令和4年度中頓別町一般会計補正予算は原案のとおり可決されました。

◎議案第13号

○議長（村山義明君） 日程第17、議案第13号 令和4年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（小林生吉君） 議案第13号 令和4年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算につきまして、山田自動車学校長から説明をさせていただきます。

○議長（村山義明君） 山田自動車学校長。

○自動車学校長（山田和志君） よろしく申し上げます。議案第13号 令和4年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算についてご説明いたします。

1 ページをお開きください。令和4年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算。

令和4年度中頓別町の自動車学校事業特別会計補正予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条第1項 既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ157万8,000円を追加し、歳入歳出の予算の総額を歳入歳出それぞれ5,643万7,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

令和5年3月2日提出、中頓別町長。

今回の補正は、自動車学校全体予算に関し、おおむね各節において精査し、執行額が確定したことに伴い、減額及び追加補正を行うものです。

事項別明細書、歳出からご説明いたします。10ページをお開きください。1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費では、既定額に157万8,000円を追加し、5,643万7,000円とするものです。1節報酬で冬期作業員の休暇、吹雪等による休校で21万2,000円の減額、2節給料で一般職給与改定分で2万1,000円、会計年度職員給与改定分15万2,000円で合わせて17万3,000円の追加、3節職員手当等では既定額に175万3,000円を追加、住居手当では所得による住宅料の改定により一般職7万4,000円の増、会計年度職員7万2,000円の増、繁忙期の教習時間延長、12月、1月の降雪、吹雪等による除雪回数が増加いたしまして時間外手当を一般職16万1,000円、会計年度職員119万9,000円の増、期末、勤勉手当、一般職5,000円の減、会計年度職員25万2,000円の増であります。4節共済費では58万9,000円の追加、共済組合負担金55万2,000円の追加、雇用保険2万8,000円追加、会計年度職員制度改正により公務災害補償負担金2万3,000円追加、社会保険料、労働保険料は確定により1万4,000円の減額、8節旅費では新型コロナウイルスによる会議、講習会等の中止により10万8,000円の減額、9節交際費は執行予定がないため減額となりました。10節需用費では10万7,000円の追加、車両燃料費、光熱費の高騰により20万5,000円の追加、施設修繕費9万8,000円の減であります。11節役務費では、Wi-Fi回線使用料13万7,000円の減、新聞折り込み料1万5,000円の減、役務費全体で15万2,000円の減額です。13節使用料及び賃借料では29万8,000円の減、予定しておりました除雪用のリース車両が一回り小さい小型の車両のため26万4,000円の減、河川敷地使用料が3万4,000円

の減であります。14節工事請負費では、工事費確定により2万2,000円の減、17節備品購入費では執行額確定により3万5,000円の減、18節負担金補助及び交付金では指定校協会負担金確定により1万2,000円の減、26節公課費では消費税納付金確定により20万円の減額となりました。

6ページをお開きください。6ページ、歳出合計、既定額に157万8,000円を追加し、5,643万7,000円とするものです。

続いて、歳入についてご説明いたします。8ページをお開きください。1款使用料及び手数料、1項1目自動車学校使用料では、既定額より696万円を減額し、2,362万5,000円とするもので、普通車教習生の入校を82名としておりましたが、70名となり、12名の減、大特車入校42名の予定に対しまして41名となりました。今後も入校生確保に向けて努力してまいります。

2款繰越金、1項1目繰越金では、前年度繰越金の額の確定により既定額に13万7,000円を追加し、13万8,000円とするものです。

3款諸収入、1項1目雑入では、雇用保険個人負担料のほか各項目ごとに精査し、追加、減額となり、総体で132万4,000円の追加となりました。特に公安委員会の委託による高齢運転者講習、当自動車学校が独自に行う認定講習は、当初見込みで合わせて548名としておりましたが、655名と107名の増となり、144万3,000円の追加となりました。今後も高齢者講習の受講者は増加傾向にあり、高齢受講者の希望に沿った講習を開催してまいりたいと考えております。

4款繰入金、1項1目繰入金では、既定額に707万7,000円を追加し、2,434万6,000円とするもので、一般会計からの繰入れ分であります。

3ページをお開きください。歳入合計、既定額に157万8,000円を追加し、5,643万7,000円とし、歳入歳出のバランスを取っておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（村山義明君） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 質疑なしと認め、質疑を終結し、これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） 討論なしと認め、討論を終結し、これより議案第13号を採決します。

お諮りします。本件は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第13号 令和4年度中頓別町自動車学校事業特別会計補正予算は原案のとおり可決されました。

◎延会の議決

○議長（村山義明君） お諮りします。

議案審議の途中ですが、時間も相当経過しておりますので、本日はこれにて延会し、残りの事件につきましては明日3月3日午前10時から会議を再開して審議を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山義明君） ご異議なしと認めます。

よって、本日はこれにて延会し、明日3月3日午前10時から会議を再開して、議案第14号 令和4年度中頓別町国民健康保険事業特別会計補正予算から審議を行います。

◎延会の宣告

○議長（村山義明君） これにて延会いたします。

本日は大変ご苦労さまでした。

（午後 3時53分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

中頓別町議会議長

署名議員

署名議員